

青年協ニュース

全国の取組みやチラシ・ニュース等をお寄せください!

日本医労連 FAX: 03 - 3875 - 6270 email: n-ootani@irouren.or.jp

* このニュースは各県と各県青年部の代表(分かる範囲で)に送っています。
メール配信や会議での配布など、多くの青年に渡るようご協力ください。

青年部合宿で模擬団交 兵庫民医労青年部

7/24~7/25 有馬温泉で兵庫民医労青年部一泊合宿をしました。その中で、青年部模擬団交を行いました。

模擬団交では、有給休暇ポイ捨て禁止の青年部要求を掲げ、経営者側になりきった支部の書記長を相手に交渉をしました。実際、職場の実態の把握不足もあり、経営者側に「有休が取れないのは、個人の責任ではないのか?」というようなことで、はね返されてしまいました…。有休を取りにくい職場風土や、人手不足の実態をしっかりと把握して、団交に挑まないといけなんだと、学びました。団交って、要求をぶつけるだけだと簡単に考えていた面もありましたが、交渉を組合有利に持っていくテクニックの必要さや、なにより組合員の声を集めることの重要さ、難しさも学ぶことが出来ました。

模擬団交が終わったら、偽経営者はいつもの優しい組合幹部に戻ってくれて、交渉の進め方など、アドバイスをしてくれました。この、学んだことを元に青年部アンケートを行い、本番に向けて、頑張りたいと思えます。

兵庫では、今年は、アクト実行委員会を立ち上げ、オルグやプレアクトやアクトに向けて元気に頑張っています。アクトが、終わったら兵庫医労連青年部会ができるようになるといいな~と、目論みながら頑張っています。これからの兵庫に注目して下さいね。(兵庫民医労青年部・藤元綾子さんのメールより)



全国組合全国交流集会 あ~んど ブロックアクト情報

全日赤 9/23~25、会場：三重県紀伊長島「ホテル季の坐(ときのざ)」

* 学習会、熊野古道ハイキング(雨天時はソフトバレー)、オリエンテーリング、花火など

北海道 8/28・29、会場：門別町「日高ケンタッキーファーム」

8/4 現在の参加集約・・・50名、ニュース発行

東北 8/27~29、会場：福島県裏磐梯「AKABEKO」

8/18 現在の参加集約・・・130名、ポスター・チラシ、財活(パンダナ)

* ゴスペルライブ(会津マスクワイア略称 AMC) 記念講演はイラク報告(NPO法人PEACE ON代表相澤恭行さん)

関信 8/20~22、会場：新潟県佐渡島

8/16 現在の参加集約・・・91名、チラシ・ポスター

・・・次ページに続く

東海北陸 8 / 20 ~ 22、会場：富山県五箇山「世界遺産の合掌造りの家」

現在の参加集約・・・56名、ニュース発行、チラシ、メーリングリスト

関 西 8 / 21・22、会場：奈良市内「ホテル三笠」

8/17 現在の参加集約・・・135名、チラシ・ポスター、財活（手ぬぐい）

*夜祭りを奈良公園で開催、参加目標を大幅に突破！

九 州 9 / 18 ~ 20、会場：長崎県伊王島「海が見えるホテル」（現在調整中）

8/18 現在の参加集約・・・40名（目標80）、チラシ、メーリングリスト、H・Pでアピール中。

*目玉は、かつての高級リゾート施設を余すことなく活用！海が見える天然温泉施設もオープンし益々快適。バラエティに富んだ企画と大自然そして長崎市内の名所まで欲張りに満喫できます。2泊目の夕食は、なななんとディナークルーズ！！を企画中。参加しなきゃ損をする！？



組合未加入青年へアタック作戦を！ 中国B青年委員会

中国ブロックは9/18、青年委員会を開きます。届いた会議の案内文書を見てみると・・・。日本医労連青年委員会でも真似したいような内容なので、皆さんにも紹介します。

議題はブロックアクト総括、ブロック青年委員会の年間計画、全国アクトに向けた取組みについてなど。検討要請課題がユニークです。

- ・組合に未加入の青年への加入アタック作戦について
- ・来年・被爆60周年を迎える「原水爆禁止運動」推進について。例) 青年の一斉6・9白衣宣伝署名行動、原爆碑の前での座り込み・宣伝行動、病院内全ての職員から賛同署名を獲得
- ・目立つことをやる。例) プロ野球選手やJリーグ選手から核廃絶の「賛同署名」を獲得
- ・世界へのアピールをどうするか？ 工夫を。



杏雲堂平塚病院が「ふれあい平塚病院」として再スタート

杏雲堂平塚病院は、2003年4月、経営者が負債解消のために閉鎖を決め、一方的に通告してきました。それに対し労働組合は、地域住民・患者さんたちの願いでもある医療機関存続のために奮闘してきました。このたたかいでは、県医労連も全面的に、もちろん日本医労連も協力してあたってきましたが、特筆すべきは神奈川県青年委員会も青年活動の一環と位置づけて主体的に支援してきたことです。神奈川県青年からの報告記事を紹介します。（以下報告）

神奈川県医労連「杏雲堂平塚病院労働組合」が、新生「ふれあい平塚病院労働組合」として再スタートしました。約一年のたたかいでしたが、当該労組が神奈川県医労連青年委員会に担当者を選出したことで、他人事ではいられず、青年委員会としてカンパ活動に自発的に取り組んだことなど、いい経験をさせてもらったと思っています（うまく表現できませんが）

7/24の勝利報告集会では、皆さんいい笑顔で、おいしいお酒を飲んでくることができました。地域の皆さんの大きな支援を受けられたことが、このたたかいの成功の大きな鍵だったんだなあ、との想いを強くしました。

全国の皆さんにも、日本医労連学習交流集会やアクトの場で、署名やカンパ活動にご協力いただきありがとうございました。こうやっていい報告ができてうれしく思います。これから新しい経営者のもとで組合活動を展開していくので大変なことも多いかと思いますが、またご協力いただければと思います。

（神奈川県医労連青年委員会事務局次長 石井聡子さん）